

# 私たちにも、できることがある。

## 2012年6月1～3日の宮城県東松島市における交流ボランティア

～四日市東日本大震災支援の会 第12回派遣～

2012年4月26日

四日市東日本大震災支援の会 代表 鬼頭浩文(四日市大学教員)

### <活動の概要>

震災から約1年がたち、被災地での生活は少しずつ改善してきています。しかし、まだ復興への光を見出す段階にない被災者の方も多いのが実情といえるでしょう。今、われわれにできることは、何なのでしょう。震災から時間がたち、「絆」という文字の意味を、もう一度考えることが望まれているのではないのでしょうか。

四日市東日本大震災支援の会が延べ200名を超える災害ボランティアを派遣した東松島市を中心に、2012年2月より交流ボランティア活動を展開しています。この交流を通し、われわれができる東北支援を考え、さらには近い将来に予想されている東南海地震への備えをするきっかけになればと考えています。二度と同じことを繰り返さないよう、東日本大震災での経験を共有し、震災の教訓を後世に語り継いでいきましょう。

### <スケジュール概要>

- 6月1日(金曜): 16:00 集合(準備作業を行います。授業などで遅れる場合は連絡すること)  
⇒ 19:30 出発(四日市大学バス停)
- 6月2日(土曜): 宮城県東松島市野蒜(のびる)地区～石巻市の激甚被災地を視察  
⇒ 東松島市の赤井市民センターに移動し、交流ボランティア活動  
⇒ 東松島市出発(途中仙台で入浴・食事)
- 6月3日(日曜): 朝7時頃に四日市大学帰着

### ★仮設住宅交流ボランティアの概要

- ・足浴+血圧測定で健康チェックと交流(四日市看護医療大学が企画・運営)
- ・三重のお茶とお菓子で交流(四日市大学が企画・運営)
- ・子どもたちと遊ぼう!(四日市看護医療大学 and 四日市大学共同企画・運営)
- ・仮設住宅を全戸別訪問して見守り巡回(4か所の仮設住宅約90世帯を対象とする)

### ★持ち物(できるだけコンパクトにしてください)

- ・保険証
- ・お金(親戚やお友達などに、たくさん土産を買ってくることも、大きな経済的支援です)
- ・バス内でのマクラ・クッションなど(長距離を快適に過ごすために必要です)
- ・タオル、着替え(帰りに入浴します)、歯磨きセット・ビニール袋
- ・常備薬
- ・ザックなど両手が自由になるバッグ(自分のものだけでなく、道具など持って歩きます)
- ・かさ
- ・エプロン(午後のボランティアでは、全員が着用します)
- ・その他(帽子・電池式携帯充電器など)★バスでの充電ができないため
- ・学生は参加同意書(保護者と本人のサイン・捺印)

### ★服装(現地の気温や天気を調べて調整を各自お願いします)

- ・華美な服装は慎んでください(午後の交流会ではエプロン着用)
- ・車内はリラックスできる服装でOKですが、ただし、着替える場所はありません
- ・運動靴など、歩きやすいもの

### ★申込方法・参加費(参加資格; 四日市大学・四日市看護医療大学学生限定)

申込 下記鬼頭アドレス宛に、以下の項目を送付ください。

- ★氏名・フリガナ・学籍番号・性別・生年月日・郵便番号・住所・携帯番号
- ・緊急連絡先・血液型・携帯アドレス

参加費: 7,000円(支援の会スタッフ(現地活動5日以上の実績)は無料)

- ★往復交通費・現地昼食・旅行保険・ボランティア保険の代金を含む

\*学生は、保護者の参加同意書を提出してもらいます。

申込先・参加費支払先(締切; 5月15日)

四日市大学: 担当鬼頭; 固定電話: 059-340-1902 メール: [kito@yokkaichi-u.ac.jp](mailto:kito@yokkaichi-u.ac.jp)



## 行程詳細

6月1日（金曜）

16:00 より四日市大学9号館4階右最奥にある部屋で戸別訪問用の封筒つめ

★授業などで遅れる場合は、前もって連絡すること。

19:30 四日市大学出発（四日市大学バス停裏の職員駐車場）

1. 名札を配布します（活動中は必ず首にかけてください）
  2. 座席は指定します
  3. 支援の会の学生リーダー挨拶
  4. 全員が自己紹介と意気込みを語る！
  5. 最初の休憩では、**翌日朝食を各自購入**し、歯磨きなど寝る準備をしてください
  6. 就寝（完全消灯をします。**全席フルリクライニング**）
- ★ 途中トイレ休憩はとりますが、ガマンできなくなる前に運転手に申し出てください。

6月2日（土曜）

6:00 起床 ⇒ 車内で朝食と現地の説明など

7:00 より被災地の視察

1. 宮城県東松島市野蒜地区～石巻市の激甚被災地をバス車内から視察
2. 写真撮影は少なめに、被災者の気持ちを考慮しましょう
3. 石巻市の門脇小学校前で降車（時間が無い場合は車中視察のみ）

9:30 仮設住宅集会所に到着、降車・荷物搬入・ミーティング

1. バスは夕方まで別の場所に移動して運転手さんが休まれます。使わない荷物を車内に置くのはOK
2. 名札をつけてください
3. 個人の荷物の置き場所は指示します
4. 全員でミーティングを行います

10:00 から準備と個別訪問

1. 戸別訪問チームは、看護大の学生で編成（7～8人×3班）、手分けをして案内配布  
\*1か所離れた仮設住宅に関しては、鬼頭がレンタカーで送迎  
\*時間があれば、レンタカーで被災者宅でお話を聞く機会をつくります
2. 準備チームは、それぞれ、場所を譲り合って準備を開始

11:30 から昼食（弁当を手配しています）

12:15 には交流会実施体制を整えてスタンバイ

12:30 より交流ボランティア（告知は13:00としますが、早めにスタートします）

1. 12:30 より足浴・お茶会・子どもと遊ぼう！ スタート  
送迎が必要な方は、鬼頭がレンタカーで送迎
2. 16:00 から片付けと掃除

17:00 赤井市民センターバス出発 ⇒ 仙台に移動

1. 18:00 全員で入浴 and 夕食（極楽の湯 仙台南店；入浴料700円と夕食代は自己負担）
2. 20:00 現地出発
3. バス車中泊ですが、消灯前に感想を全員から感想や考えたことを発表してもらいます
4. 就寝（トイレ休憩を数回予定しています）

6月3日（日曜）：朝7時頃に四日市大学帰着 ⇒ 片付け ⇒ 解散

### <注意点、守るべきこと>

- ・被災者の気持ちに寄り添い、傷つけるような言動をしないこと
- ・積極的に被災者に対し、家族や友人、お姉さん、お兄さんのように笑顔で接しましょう
- ・家族を失ったり、家を流されたり、被災者が大変な経験をしていることを常に忘れないでください
- ・子どもに「お母さんと来たの？」の一言で深く傷つけたりすることもあります。常に考えてください
- ・指示されたことだけでなく、自分で考えて行動しましょう
- ・名前や職業・住所を聞くことは、基本的にNGです
- ・写真撮影は深い絆ができてからにしましょう

### <高速バス運行体制>★高速バスの痛ましい事故を受けて

本会の東北派遣では、費用よりも安全という考え方を徹底しており、運転手2名体制での運行、運転手の現地での十分な休息確保をしております。今後は、さらに安全運行を徹底するよう、会としても努力を続けます。

\*JTB総合提携店(株)第一観光(担当；黒田真史)を通じ、名阪近鉄バスで宮城県を往復します。